

3

谷川さんの学級では、物語を読み、心に残ったところについて説明し合うことにしました。谷川さんは、「きつねの写真」という題名の物語を読んでいます。次は、谷川さんが読んだ【物語】です。これをよく読んであとの問いに答えましょう。

【物語】

(あまんきみこ「きつねの写真」による)

(あまんきみこ「きつねの写真」による)

(あまんきみこ「きつねの写真」による)

一 谷川さんは、【物語】を読みながらも一度、文の意味をたしかめています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 次のアの文について、……部「なんかいも」はどの言葉をくわしくしていますか。ふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア なんかいも熱心にそういわれて、松ぞうじいさんは、こまったように首をふっていましたが、やがてたちあがりました。

- 1 熱心に
- 2 いわれて
- 3 こまったように
- 4 たちあがりました

- (2) 次のイの文について、……部「ありました」の主語としてふさわしいものを、あとの1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

イ きつねのすんでいたらしい小さな穴が、あちらにもこちらにもありました。

- 1 きつねの
- 2 すんでいたらしい
- 3 小さな
- 4 穴が
- 5 あちらにもこちらにも

二 谷川さんは、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめるために、同じ物語を読んだ木村さんと話し合うことにしました。次は、【話し合いの様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

木村さん



わたしが心に残ったところは、松ぞうじいさんが松の木をトントンたたいて、「とび吉、こっちへ、こう」とよんだところだよ。なぜかという、木をたたいただけで言葉が林の中に伝わるなんて、まほうみたいですごいと思ったからなんだ。

谷川さん



たしかに、まほうみたいだね。わたしは、物語を読んでぎもんと思ったことがあったんだけど、これも心に残ったところなのかな。

木村さん



それも、心に残ったところだと思うよ。どんなところをぎもんと思ったの。

谷川さん



それは、物語のおわりに、山野さんが「――これはなかったことにしよう。」と心の中で思ったところだよ。きつねの写真がとれたのに、どうしてこう思ったのかな。

木村さん



はじめはきつねの写真がとりたくてごんぎ山に行ったのに、おわりには、せっかくとれたきつねの写真を、なかったことにしようとしているのは、どうしてだろうね。

谷川さん



山野さんのはじめとおわりの気持ちの変化について、いっしょに考えてくれないかな。

（話し合いが続く）

谷川さん



はじめは、「なかったことにする」なんてびっくりしたけれど、木村さんと話し合ったおかげで、ぎもんと思っていたことをしっかり考えられたよ。そのことについてまとめてみるね。

谷川さんと木村さんは、――― 部①のように、山野さんの気持ちがはじめとおわりで変化していることについて考えています。山野さんの気持ちが変化したきっかけを、谷川さんの言葉に続くように、

【山野さんの「はじめ」と「おわり」の気持ち】

「はじめ」の気持ち…新聞にのせるため、ごんざ山のきつねの写真を、どうしてもとりたい



「おわり」の気持ち…きつねの写真がとれていたけど、これはなかったことにしよう

山野さんは、写真のきつねが、
A
ということに気づいたことがきっかけで、
気持ちが変わったと思うな。

そうか。物語をよく読み返したら、たしかにそう考えられるね。きっとそうだよ。



木村さん



谷川さん

三 谷川さんは、木村さんと話し合ったあと、【物語】を読んで心に残ったところを説明し合うために、自分の考えを文章に整理しています。

次は、【谷川さんの文章】です。あなたが谷川さんなら、

B

に入る内容を、どのように書きますか。あとのへじょうけんへ合わせて書きましょう。

【谷川さんの文章】

わたしが心に残ったところは、山野さんが「これはなかったことにしよう」と心の中で思ったところです。なぜかというところ、とりたかったきつねの写真がとれていたのに、なかったことにしようと、気持ちが変わったことにびっくりしたからです。

山野さんは、写真にうつっていたきつねのことに気づきました。だから、もしこのまま新聞に写真をのせてしまうと、思い、気持ちが変わったのではないかと、わたしは考えました。

B

〈じょうけん〉

○ B のあとの言葉に続くように書くこと。

○ 十字以上三十五字以内で書くこと。

※ 左は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。かい答は、かい答用紙に書きましょう。

	10字
35字	